

夢追い人

地元と共に歩む

大川信用金庫

新理事長 古賀 巧さん

今月の夢追い人は、六月二十三日付けで新たに大川信用金庫理事長に就任された、古賀巧さん。

大川信用金庫は、今年で創立六十四周年を迎える。自己資本比率は一八・二四％と国内金融機関に求められる数値（四％以上）を大きく上回り、

九州の信金でもトップクラスだ。安定した基盤をもっている。堅実で安定した経営の背景の一つは、地元とともに歩むコミュニケーションを目標としてきたことがある。地域の人々の生活に密着した「地域密着型金融」に取り組んできたのだ。

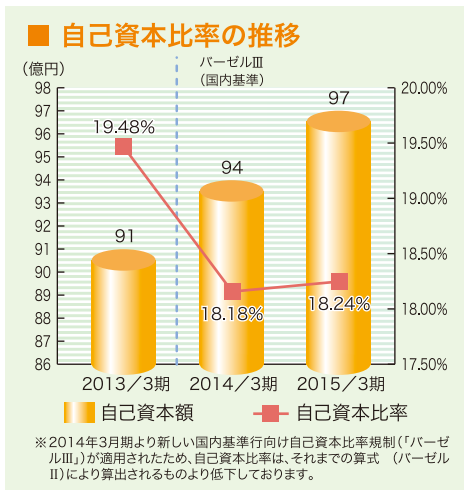
古賀理事長は「地元貢献活動が経営の大きな柱です。地域社会の繁栄と地元中小企業の発展によって初めて大川信金も存続できると考えているからです。私たちは順番を間違えません。まさに地元あつての大川信金です。」と力説される。平成五年二月には、



職員のみなさん



大川信用金庫本店



5S活動



日曜相談会



無料年金相談会





「地域活性化のための地域貢献事業」の体制

注目すべきは近年、「地域貢献事業」が急速に拡大している点だ。下の表の取組件数を見ると分かる通り、二十四年度四六一件、二十五

「公益信託おかわしんきん地域振興基金」を設立。平成五年の助成から二十六年まで三三一団体にに対し、なんと九、五四九万円の助成を行い、大川市ならびに周辺の街づくり、教育、産業の振興に寄与してきた。

平成二十二年四月以降は、地元貢献活動に一層拍車がかかっているという。どういことだろうか。「地域活性化のための地域貢献事業」を立ち上げています。この事業は、厳しい経済環境の中で頑張っている地元中小企業の『悩み』や『課題』を解決するため、効果的な支援を行うことを目的にしています。国・県の支援施策活用とともに、大川信金独自の支援も展開します。」

具体的にどんな支援を行うのだろうか。まずサポートを

必要とする地元企業から事前ヒアリングを行い、他分野の専門家（十二名）と連携し各事業者の課題（経営改善・知財活用・従業員教育等）解決に取組む。また、活用できる国・県の中小企業施策（助成金等）を紹介し、申請書類作成も支援する。「この中には『経営革新計画申請』のサポートもあります。この事業は大川商工会議所とも連携しています。」

他にも5S活動を通じた生産現場改善支援も力を入れている分野。講師を派遣し、研修会を開き、企業への啓発活動を行っている。こうした「地域活性化のための地域貢献事業」の真摯な取り組みが評価され、平成二十四年二月に、「地域密着型金融等の取り組み」について福岡財務支局から顕彰を受けている。

平成24年度以降の取組状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談受付	58件 (49事業所)	121件 (99事業所)	155件 (123事業所)
事前ヒアリング	59件 (49事業所)	113件 (91事業所)	124件 (103事業所)
専門家派遣	131件 (31事業所)	201件 (52事業所)	208件 (49事業所)
国や県等の支援施策活用事業	213件 (50事業所)	24件 (13事業所)	37件 (20事業所)
経営革新等支援機関業務(補助金活用等)	-	86件 (73事業所)	111件 (93事業所)
取組件数	461件	545件	635件
5Sサークル(実施回数)	31回	20回	12回

国や県の施策活用と当金庫独自の施策活用により、事業者それぞれの課題や問題に対応した専門家派遣等を実施し、地域中小事業者の発展に貢献しております

度五四五件。二十六年六三件と、うなぎ登りだ。地元にも貢献したいという大川信金の熱意と真摯な姿勢がこの数字にも表れているのではないだろうか。

そのほか、身近な分野でも地元のための活動を地道に行っている。たとえば、三つの無料相談会。まずは法律相談会。弁護士が対応する。毎月第二火曜日に本店で開催している。相続、近所トラブルなど幅広い分野の相談に応じている。それに年金相談会。毎月第三水曜日に開催している。二人の社労士と五人の年金アドバイザーが担当する。「充実している」、「信金に行

けば年金のことは何でも教えてもらえる」と言った声をよく耳にします。評判がいいですね。」それに第二日曜日にミヅマ支店と酒見支店で開かれる日曜相談会。年金・住宅ローン等の相談に応じている。そのほか、ボランティア活動として道路や公園トイレ等の清掃活動を行っている。年に三回、役職員の多くが参加する。平成二十六年六月には、職員一五二名、今年の三月には一四〇名が参加している。それに少年サッカー、野球大会、ゴルフ大会等のスポーツ振興。さらには政治、経済、文化、教育などを幅広く学ぶ目的で、地元企業四十七社の若手経営者で組織される「しんきんニューリーダーズ・クラブ」の事務局として側面からサポートしている。

古賀理事長が最近嬉しく思っていることがある。それ



ボランティア活動



さて、古賀理事長の夢は何だろうか。「大川信金のトップとして、職員の皆さんが仕事しやすいように、適切な方向性と目標を明確に打ち出していきたいですね。拡大路線というより、スモールエクセレントバンクとして高いクオリティーを目指します。今年で創立六十四周年ですが、一〇〇周年に向かって着実に成長していければと願っています。もちろんそのために一番大切なことは、地元と共に歩んでいくことです。」

は「顧客満足度が上昇していること」です。「満足」と「やや満足」を合わせると九七・五％という高い数字になっています。前回アンケートに比べて「満足」との回答が一・三％アップしています。地域貢献や『お客様本位』の姿勢が評価されているからだと思っております。」

ご回答	前回	今回
	平成25年 12月	平成26年 12月
満足	74.8%	76.1%
やや満足	23.3%	21.4%
やや不満	1.0%	0.2%
不満	0.1%	0.0%
未記入	0.8%	2.3%